

島根高P連だより

第66号

2024.7.16

発行
編集

島根県高等学校PTA連合会事務局

松江市黒田町538 TEL/0852-22-8602 FAX/0852-22-8735
E-mail: shimakp@orange.ocn.ne.jp URL:https://shimakp.jp/

高P連
ホームページの
QRコード



大社高校



遊ぼう!キッズフェスタ



1年生田植え実習



収穫祭
PTA模擬店

松江農林高校



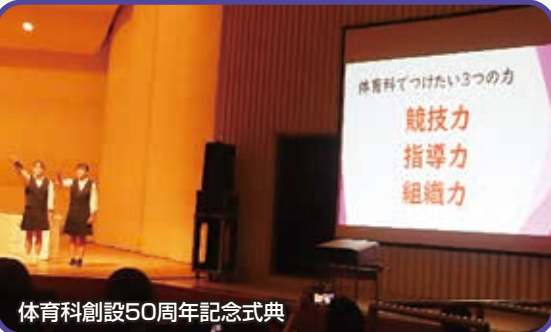
「総合的な探究の時間」成果発表会



松農発表会



体育祭総合リレー



体育科創設50周年記念式典



北九州・福岡研修旅行



IT人材育成



商品開発

浜田商業高校

目次

- ② 「PTA活動は大人の学び場」
島根県高P連会長 原 完次
令和6年度島根県高P連総会開催
- ③ 令和7年度中四国高P連島根大会について
- ④ PTA活動紹介 安来高校PTA/平田高校PTA
- ⑤ 令和5年度 県教委との意見交換会
令和6年度 人権教育「PTA活動」育成事業～人権教育研修会～
- ⑥ 世界大会出場 会長激励費贈呈
出雲農林高校カヌー部/島根中央高校カヌー部



進路講演会



生徒による花壇整備

PTA活動は大人の学び場

『できることをできるときに無理をせず』



島根県高等学校PTA連合会会長
(島根県立松江商業高等学校PTA会長)

原 完次

令和六年度島根県高等学校PTA連合会の会長を務めさせていただきまます原完次と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

口頃より本会ならびに各単位PTAの活動にご理解とご協力を頂きありがたございませす。また、PTA活動は新型コロナウイルスの感染が猛威をふるった影響により多くの活動やイベントの中止や縮小が続き今まで続けられてきた活動が思うように行えなかったと思います。しかし、その中においても熱意をもった多くのPTAの先輩たちが、少しでも子どもたちのためにできることを考え活動を継続してきて頂いたことに心よりお礼申し上げます。

昨今PTAは小中学校を中心に全国各地から加入問題や不要論といった声が上がってきています。私自身も三年前まで島根県の小中学校PTA連合会の会長をしてきましたが、近隣県では脱退をされる単位PTAがわすかではありますが増えています。今の時点高校ではその言ひたは聞かされていませんが、「口ナで活動が思うようにできなかった経験を持つ方が増えてきていますので、今一度PTAの意義を再認識することが必要ではないかと思ひます。

PTAはよくボランティア団体と言われますがそこではありません。文科省の学制百年史の中にも「わが国最大の社会教育関係団体であるPTAは父母と教員とが協力して、家庭と学校と社会における児童、青少年の幸福な成長を図ることを目的とした団体…」と言った記載があります。社会教育関係団体とは、学習・文化・スポーツなどの社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とし、その活動を地域文化・スポーツの向上や生活文化の振興、さらには社会福祉の増進につなげ、自主的な運営をする団体

です。PTAは子どもたちのため行う活動だとしてよく言ひますが、子どもたちのため何ができるか何かをするには、やはり今の教育や社会環境子育てと言った様々な分野のことを知ることに大切ではないかと思ひます。PTAは幅広い年齢層で構成されていますが、活動を行うときは年齢や業種に関係なく子どもたちのためにできることを一緒に考えることができる場です。

これからのPTA活動は、誰もが参加しやすいよう無理のないところから、自分ができることをできるときに参加していただければと思ひます。我が子以外の子どもたちと関わることで今の高校生の思いや考えを知る、また他の保護者との交流から子育てや今後の社会生活に活かせるヒントを見つづけることができるのではないかと思ひます。

そしてなにより楽しいPTA活動を皆さんと一緒につづけて行くことが必要だと思ひます。毎年七月に高校のPTAの学びの場のひとつに中国四国地区高等学校PTA連合会大会があります。今年が高知県で開催されますが、来年度は島根大会が松江で開催されます。この大会が皆さまにとってよい学びの場となるように準備を進めていますので、来年は是非ご参加いただけますようお願い申し上げます。また、開催にあたってさまざま場面でご協力をお願いすることになると思ひますのでその際はご協力をお願いいたします。

最後に改めてPTA活動は大人の学びの場です。誰もが気軽に「できることをできるときに無理をせず」参加できるような皆さまと考えていきたいと思ひますので、これからもご理解と協力をお願いいたします。

令和六年度島根県高等学校PTA連合会総会開催

令和六年度定期総会は六月八日(土)に松江市の島根県民会館で、代議員六十四名が出席して開催された。

木村直樹会長は、開会に当たり、県高P連の様々な活動にご協力をいただいていることに感謝の意を表した。その上で、新型コロナウイルス感染症による活動自粛が収まり通常の活動が再開されたが、従前と同じではなく工夫をしながらPTA活動をしましょうと挨拶があった。

また、来賓の島

根県教育委員会 野津建二教育長からは、最初に日頃の教育行政に対する保護者の理解・協力に対する謝意が伝えられた。そして、一月に発生した能登半島地震に触れ、道路が遮断されるに支援物資が届かないところもあつたが、その間、被災者は助け合いながら支援を待っていた。いざとなつたとき「人と人のつながり」「共助」が重要



野津教育長挨拶

総会の様子

なキーワードであり、PTA活動にも当てはまる理念ではないかという挨拶があった。

開会行事の後、議事に入り、木村会長を議長に選び、第一～三号議案を承認後、第四号議案で左員の通り新役員が決定した。そして、木村会長、小玉ともみ副会長、大野貴代美副会長からそれぞれ退任の挨拶をいただいた後、原完次新会長を議長に選任し、第五号議案以下、提案された議案はすべて承認された。

次に提出議案を紹介する。

- 一、令和五年度会務・事業報告について
- 二、令和五年度会計決算及び監査報告について
- 三、県高P連関係各表彰の被表彰者の決定及び全国高P連表彰等の推薦について
- 四、令和六年度役員(案)について
- 五、令和六年度活動方針(案)について
- 六、令和六年度高P連主要行事予定(案)について
- 七、令和六年度予算(案)について
- 八、令和六年度島根県高P連研修会(案)について
- 九、報告事項
- 十、その他

第三号議案について、表彰規定に基づき、次頁の方々に感謝状と表彰状を贈呈し、永年のご労苦にご功績に対して謝意を表すことになった。そして、小玉ともみ前副会長に代表して挨拶をいただいた。

○感謝状と記念品贈呈(敬称略)

- 流 靖則(江津高校)
江木 勝義(浜田水産高校)

令和6年度島根県高等学校PTA連合会役員表				
役員	選出地区等	氏名	所属高校	所属校校長
会長	東部	原 完次	松江商業	水津 則義
顧問		木村 直樹		
副会長	中部	加村 光夫	大 社	吉川めぐみ
	西部	名原 昌邦	島根中央	立石 祥美
	女性代表	赤池 忍	松江北	伊藤 康子
	校長協会	水津 則義	松江商業	
評議員	松江	前田 達哉	安 来	伊藤 尚史
		曳野 貴志	松江農林	原 隆志
	雲南	岡 卓志	横 田	安食 英典
	出雲	安里 隆司	出 雲	村松 洋子
	大田	寺本 英仁	矢 上	駒川 一彦
	浜田	岩元 理恵	江津工業	楯野 哲央
	益田	大谷 佳司	益田翔陽	山岡二三男
	監事	東部	板垣 学	情報科学
中部		迫田 周三	飯 南	
西部		高橋 宏聡	益 田	
事務局	事務局長	恩田 佳雄	事務局員	岡本 順子

○表彰状贈呈(敬称略)
 木原 和典(松江北高校)
 小玉ともみ(出雲農林高校)
 森山 康仙(大田高校)
 大野貴代美(江津工業高校)
 山斗 隼人(隠岐島前高校)

また、全国高P連合会長表彰に次の団体を推薦することとした。
 ○令和五年度全国高P連合会長表彰
 団体表彰候補
 島根県立大田高等学校PTA
 島根県立江津工業高等学校PTA

また、総会では、第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会(島根大会)に關

- する議案も審議され、すべて承認された。
- 島根大会関係議案
- 一、現在までの承認事項
 - 二、島根大会準備スケジュールについて
 - 三、島根大会シンボルマークについて
 - 四、島根大会実行委員会委員の委嘱について
 - 五、島根大会実行委員会組織図について
 - 六、島根大会参加費の値上げについて
 - 七、島根大会予算(概算)について
 - 八、島根大会参加者数(県内)について
 - 九、高知大会視察について
 - 十、「研究協議」発表校について
 - 十一、記念講演について
 - 十二、高校生による発表について
 - 十三、高校生の特産販売について
 - 十四、その他

令和七年度 第67回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 島根大会について

第67回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会は島根県で開催されます。現在まで総会、評議員会、準備委員会を開催し準備を行って来ましたが、準備状況をお知らせします。

①期日 令和七年七月十日(金)

②会場 くまびきメッセ 島根県立産業交流センター

③大会テーマ
神話の郷に集う縁
 ～新時代を生き抜く力を～

作者 森山 恭さん(島根県立出雲高等学校PTA)
 神在月に島根に神々が集うように、令和七年の夏に中国のPTAが島根に集結し、A1全盛で便利な反面、混沌とした時代を生き抜くために皆でできることを考える縁ある大会になって欲しいと思います。

④シンボルマーク
 制作者 多久田 媛風さん
 (島根県立出雲高等学校三年)
 八東水臣津野命の国引き神話をモチーフに作成しました。混沌とした時代のような激しい波の中で綱をしっかりと引いている躍動感が出るように配置を工夫しました。また、固く結ばれた絆を意味する梅結びを入れました。

⑤参加費 五、一〇〇円(弁当代一、一〇〇円を含む)
 令和六年八月十四日、中国高P連合会で決定

⑥研究協議発表校 島根県立隠岐高等学校PTA

⑦令和六年度実行委員会
 委員長 高P連合会長
 顧問 令和五年度準備委員会委員長、社会教育課長
 副委員長 高P連合副会長
 委員 松江地区高校のPTA会長、校長、島根大会担当教員

⑧今後の準備日程
 ・八月三日(土) 第一回島根大会実行委員会(オンライン)
 ・九月二十八日(土) 第二回評議員会(あすたす)
 ・十二月十四日(土) 第二回島根大会実行委員会(くまびきメッセ)

令和七年 一月十五日(土) 第三回評議員会、第三回島根大会実行委員会(くまびきメッセ)

第67回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 島根大会シンボルマーク表彰式について

島根大会のシンボルマークについては、県内十三高校から百八十四点の応募数があり、シンボルマーク選考会を経て、六月八日の令和六年度高P連合会において表彰式を行いました。

受賞された皆さんは、次のとおり。

○最優秀賞
 多久田媛風さん(出雲高校3年)

○優秀賞
 島田 妃秋さん(安来高校3年)
 上廻さらさん(松江商業高校3年)
 星野 琴美さん(三刀屋高校2年)

○優良賞
 小林耕太郎さん(安来高校2年)
 高橋 佳愛さん(情報科学高校2年)
 宮本 凜音さん(情報科学高校2年)
 川上 大介さん(出雲高校3年)

今後の中・四国高P連合会と全国大会の開催予定

○中・四国高P連合会
 ・第六十六回中・四国高P連合会 高知大会 令和六年七月十一日(金)
 開催場所 高知県立県民文化ホール(高知市)
 大会テーマ はばたけ若人よ 郷土の大空へ
 ～みんなあゝが願いうつせよ!～

・第六十七回中・四国高P連合会 島根大会 令和七年七月十日(金)

・第六十八回中・四国高P連合会 香川大会 令和八年七月

○全国高P連合会
 ・第七十三回全国高P連合会 茨城大会 令和六年八月二十一日(木)・二十三日(金)
 開催場所 茨城県水戸市他
 大会テーマ 「歴史の町で変革を!!」
 ～新たな時代が目に入らぬか～

・第七十四回全国高P連合会 三重大会 令和七年八月

・第七十五回全国高P連合会 大分大会 令和八年八月



受賞者の皆さん

PTA活動紹介 安来高等学校PTA活動

島根県立安来高等学校 PTA会長 前田 達哉

安来高校は、中海に注ぐ飯梨川・伯太川の清流を有し、戦国時代には尼子氏の城下町として栄え、民謡安来節とヤスキ八ガネのまちとして知られる。安来市で唯の普通科高校です。その歴史は古く、明治三十四年(西暦九〇年)能義郡立農業学校として産声をあげ、以来創立百二十四年目を数える県下有数の伝統校です。

本校の学校経営方針は「二十一世紀を生き抜く安来への愛着を持った人材の育成」であり、その実現に向けて、以下の四つのスクールミッションを掲げています。

- 一、ICT活用や家庭学習時間確保により、確かな学力と主体的な学習意欲を育む。
 - 二、魅力化コンソーシアムのサポートのもと、地域と連携した課題解決型学習を行う。
 - 三、カリキュラム・マネジメントや高大連携などを通じ、多様な進路希望を実現する。
 - 四、育成したい資質・能力を明確にし、地域から応援される部活動を通じて、よりよい社会の創り手を育成する。
- さて、本校のPTAは、会長、五つの校区から選出された副会長、幹事、評議員、監事によってPTA役員を構成し、研修委員会、生活指導委員会、広報委員会という三つの委員会を軸に活動を行っています。研修委員会はPTAボランティアへの参加と

呼びかけ、生活指導委員会は交通安全指導、広報委員会は年二回のPTA広報誌の発行が活動の中心です。

その中から、PTAボランティアの活動をご紹介します。校内ロードレースでの監察、給水補助、そして豚汁の炊き出しです。昨年度実施した炊き出しは、「コロナの影響で、実に四年ぶりの復活となりました。男子十七キロ、女子十二キロという、県下屈指のハードなレースを完走し、豚汁をほおぼる子どもたちの姿を見て、私たち保護者もパワーをもらうことができました。

子どもたちは、日々、様々な学校の活動を終えて、ある時は笑顔で、ある時はくたくたになっ



ロードレース「おかわりお願いします!」



ロードレース「只今、大鍋と格闘中!」

PTA活動紹介 平田高等学校PTA活動

島根県立平田高等学校 PTA会長 行武 望

平田高校は出雲市平田町の愛宕山にあります。宍道湖や大山を望める高台に立つ普通科の高校です。近年、平田商工会議所をはじめとした平田地域の方々や島根県立大学などから支援を受け、地域協働学習に力を入れて取り組んでいます。地域の方と話をする機会や地元ツアーなどを通して地域を知り、地域の課題解決をテーマに探究活動を行っています。

また、校外の様々な大会でも活躍しています。陸上部、駅伝部、柔道部、放送部、文芸図書部、吹奏楽部、美術部、写真部、JRC部などの部活動や、水泳やゴルフ、音楽などの様々な自主的な体育・文化活動で中国大会・全国大会等に出場しています。

このような生徒の活動を、地域の方々や卒業生会、そしてPTAが見守り応援しています。

平高PTAは学校と保護者の連絡調整をはかり、学校教育の振興に資することを目的に、生徒の奨学、設備充実に関する事業などを行っています。主な活動は様々な会計を通しての学校教育活動の支援や、生活指導・広報・研修の三つの専門委員会の活動です。生活指導委員会は生徒指導に関する協議や校外指導を行います。昨年度は年二回「自転車マナーアップ週間」において生徒の登校時間帯に街頭指導を行いました。広報委員会は年二回の「平高PT

A通信を編集・発行します。昨年度は校内行事・部活動の報告や先生方の紹介などを行いました。研修委員会はPTA研修会の企画・実施や美化・奉仕活動等の企画・開催を行います。昨年度は八月に校地清掃活動、十二月に元プロ野球選手・清水将治氏の講演会を開催しました。

今後もPTA活動を負担感なく楽しく続けていけるよう、今年度は活動内容や役員数、選出方法などを見直しながら活動していこうと考えています。

これまでも本校PTAは生徒の通学路である西代橋や瑞穂大橋への歩道橋の設置を要望し実現させるなど、子どもたちの学びの環境を整える活動を行ってきました。これからも平高生の高校生活を充実させるため、時代にあつた有意義な活動をしていきたいと思えます。



しまね教育の日 清掃活動



平高生とおちらとーく(トークフォークダンス)



平田ウイングバスツアー

令和五年度 県教委との意見交換会 概要

令和六年二月十六日(火)に木村直樹会長以下四名の役員が教育庁で、県教委の野津建三 教育長以下十二名の職員と意見交換を行った。以下は、高P連役員との質問や意見に対する県教委の回答・意見等をまとめたものである。

「1」教育のICT化の充実と拡充について

島根県の公立高校では令和四年度の入学時から一人一台の端末が保護者負担で配布された。県教委では、プロジェクトやスクリーン等のICT機器やネットワーク環境を整備した。また、ICTに対応した教材等のソフト面の充実や蓄積も進んでおり、アカウントを全員に配布し文章作成や表計算を協働で行ったり、課題も生徒の能力・到達度に応じて配信することが可能となった。生徒個々の能力に応じた学習が可能になっており、例えば、英語では自分の発言を端末で録音し、AIがそれを判定することもできるようになった。ICT機器を道具として課題解決型学習に取り組み、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」を進めていきたい。

「2」ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」とは通学や仕事のかたわら、障がいや病気のある親や祖父母、年下の弟妹などの介護や世話をしている十八歳未満の子供を指す。介護のために学業に遅れが出たり、進学や就職を諦めたりするケースもあるという。社会福祉との連携が重要であり、県立高校4校に一人の割合で配置されているSSW(スクールソーシャルワーカー)が連携の核として対応に当たっている。学校の現場では「福祉」の概念がまだ十分浸透していないので、教職員研修等を通して理解の促進を図るとともに、「学校福祉連携モデル事業」を行い、社会福祉士が指定校を定期的に訪問し、より効果的な連携や支援の在り方を探究しているところである。また、人権教育を通して「子供の権利」について学び、子供自身が自らの困難に気づいて大人に相談できる力を養いたい。昨年「子ども基本法」が成立したが、「子供の権利」について発信を行い、保護者の協力を求めていきたい。

「3」働き方改革について

教職員は豊かな人間性、使命感、教育的愛情を資質として持ちながら子供たちのために全力を尽くすことが求められるが、その基盤に教職員の心身の健康がある。しかし、学校現場では心身の健康保持には十分とは言えない状況がある。令和

「4」教員不足について

令和五年度当初の欠員は公立高校で七人であった。「教員不足」を補うため、県西部の四つの高校をネットワークで結び、配信拠点校から周辺の小規模校に授業を配信する事業を展開中である。また、学生に向けて「教職の魅力」を発信することが大切であると考えており、教育実習を大学三・四年生だけでなく、二年生にも広げている。また、松江、出雲、大田、浜田、益田、隠岐の普通高校六校を拠点校として指定し、島根大学と連携し高校生対象の教員志望セミナーを開催し、大学生が高校に出向いてなぜ教職を志したか等について説明したり、附属学校で教育実習生が授業を行うのを高校生が見学し、授業後の意見交換にも参加している。

「5」県立高校の再編について

平成三十年の「県立高校魅力化ビジョン」に基づき、地域外からの入学制限や松江市内普通科三校の通学区の撤廃、通信制高校への後期入学制度の整備を行ってきた。また、令和四年度に隠岐島前高校普通科の二学級を地域共創科に改編、令和六年度に松江工業高校情報技術科を情報クリエイター学科に改編した。江津地域の県立高校の在り方については、基本的な方針について総合教育審議会に諮問し、令和五年十月に答申を受けた。その後、パブリックコメントを行い、必要な修正を加えた上で、十一月の教育委員会会議で基本的な方針を決定した。江津高校の地域連携による進学を念頭においた学びと江津工業高校の伝統を活かすとともに県西部の工業教育へのニーズに対応できるようにする。この統合新設校は一学年百二十人規模で、江津工業高校の場所を念頭とする。地域や地元教育機関と連携し、探究的な学びを生かした魅力ある教育を展開したい。



意見交換会の様子

令和六年度人権教育「PTA活動」育成事業～人権教育研修会～

令和六年六月十一日(火)に島根県浜田合同庁舎において令和六年度人権教育「PTA活動」育成事業人権教育研修会が開催された。この事業は、島根県教育委員会が県内の幼稚園・こども園、小・中学校、高校、特別支援学校のPTAから単位PTAをモデル指定し、PTA会員一人一人が様々な人権問題に対する正しい理解や認識を深めるとともに、学校や家庭、地域が連携・協働して人権教育のより効果的な推進を図る目的で毎年行われている。当連合会からは、令和五・六年度指定PTAである浜田商業高校PTAと高P連がこの事業の事務を担当する宍道高校PTA、参加希望のあった単位PTAから合計二十三名が参加した。

人権教育研修会ではまず、「PTAで人権教育をどう進めるか」をテーマに、指定PTAの出雲市立四路幼稚園PTA、吉賀町立柿木小学校PTA、島根県立宍道高校PTA、島根県立浜田商業高校PTAの各担当者から実践発表があった。

浜田商業高校PTAの発表では、①あいさつ運動 ②浜商学園祭・浜商デパート・メッセージボード ③花壇・フロンターの整備・美化 ④人権についての講演会「どわかステージ」 ⑤公民館活動(人権・同和問題啓発推進事業) ⑥人権について考えるための書籍購入と多岐にわたる活動が紹介された。あいさつ運動では生徒会や生活科学部の生徒が手作りでたすきを作成したり、学園祭のメッセージボードには保護者から生徒たちへの「友情を大切に」



浜田商業高校PTAの発表

2024 アジアパシフィック カヌー Sprint カップ 出場 会長 激励費贈呈

島根県立出雲農林高等学校 カヌー部 多々納 真樹さん

オーストラリアのキャンベラで開催された2024アジアパシフィックカヌーSprintカップに、日本代表として出場した出雲農林高校カヌー部の多々納真樹さんに四月二十四日(水)出雲農林高校校長室で森山康仙高P連副会長が激励費を贈呈した。出場種目と結果は次のとおり。

○結果

- U18 カヤックシングル 1000M 3位
- U18 カヤックペア 500M 4位
- U18 カヤックフォア 500M 3位
- U18 M-Xカヤックフォア 200M 5位
- U18 女子カヤックシングルリレー(4人) 200M 準優勝
- U18 メガリレー(男女混合)(8人) 200M 5位

多々納選手には、左記のようにオーストラリア遠征時の手記を書いてもらった。

アジアパシフィック

Sprintカップに参加して

島根県立出雲農林高等学校 カヌー部 三年 多々納 真樹

オーストラリア・キャンベラで開催された2024アジアパシフィックSprintカップに出場しました。この大会は私にとって一回目の日本代表としての出場でした。昨年は四人乗りでの銀メダルで終わりましたので、今年は金メダル獲得を目標に臨みました。

一人乗りでの世界大会出場は初めてで、非常に緊張しました。また、日本とは艇も環境も異なり、

大きな不安がありました。しかし、落ち着いていつもの漕ぎをすることができ、銅メダルを獲得することができました。金メダルには及びませんでしたが、身長や体格が自分より一回り大きい海外の選手と肩を並べ、戦えたことは大きな自信となりました。四人乗りや二人乗りでは、初めて組んだ選手との出場で非常に苦労しました。短い調整期間の中、漕ぎ方の違いなどを皆で話し合ったことで、女子リレーでは昨年に並ぶ銀メダルを獲得しました。

今回、日本代表として派遣され、他のチームの選手やコーチから技術的な指導を受けることができ、良い学びとなりました。また、他県の日本代表選手や海外の代表選手との交流も楽しく、オーストラリアの料理や観光地など、この国でしかない体験もさせていただきました。

今回の大会で学んだことや経験を活かし、これからの全国大会でも良い結果を出せるよう、トレーニングを重ねていきます。



銀メダル獲得後の喜びの表情



レースの様子



贈呈式

2024 アジアパシフィック カヌー Sprint カップ 出場 会長 激励費贈呈

島根県立島根中央高等学校 カヌー部 吉村 颯人さん

オーストラリアのキャンベラで開催された2024アジアパシフィックカヌーSprintカップに、日本代表として出場した島根中央高校カヌー部の吉村颯人さんに五月十五日(水)島根中央高校校長室で森山康仙高P連副会長が激励費を贈呈した。出場種目と結果は次のとおり。

○結果

- U18 カヤックシングル 1000M 6位
- U18 カヤックシングル 200M 8位
- U18 カヤックペア 500M 4位
- U18 カヤックフォア 500M 4位
- U18 M-Xカヤックフォア(男女混合) 200M 6位
- U18 男子カヤックシングルリレー(4人) 200M 4位
- U18 メガリレー(男女混合)(8人) 200M 3位

吉村選手には、左記のようにオーストラリア遠征の手記を書いてもらった。

アジアパシフィック

Sprintカップに参加して

島根県立島根中央高等学校 カヌー部 三年 吉村 颯人

五月九日～十日にオーストラリアのキャンベラで開催された2024アジアパシフィックカヌーSprintカップに日本代表として出場しました。五月四日に日本を出発して、十二時間かけてキャンベラに到着しました。

オーストラリアは南半球なので日本と季節が逆で季節は秋でした。宿舎はA-S(オーストラリア国際スポーツセンター)でした。そこには、数多くのスポーツ施設があり、バスケットボールやバレーボールの体育館、サッカーやラグビー等のトップアスリート専用施設を利用させていただきました。

食事については、肉や野菜、フルーツがメインで

カロリーの高い食事が提供されていました。オーストラリアの選手たちの体が大きいのは、このように高カロリー・高蛋白質、そしてビタミン豊富な食材を摂っているからなのかと思います。自分の食事について見直すきっかけになりました。

試合は、初めて組んだペア・フォア種目は苦戦しました。体重移動や、艇を進めるポイントを合わせる努力をしましたが、完ぺきな状態とはいきませんでした。シングルについては、自分の得意な千Mでのメダル獲得を目標にしました。レース前半から中盤にかけては良い感じでしたが、外国人選手のラストスパートの威力の違いに圧倒され、結果は六位でした。しかし、このレース経験は大変勉強になりました。大会後は、選手同士でお土産の交換をしたり、野生のカンガルーがいる場所に案内してもらったりと、コミュニケーションをとることができました。

今回の大会では、日本の大会とは違ったレース展開やパワーの違いや食べているものの違いなど多くのことを学ばせていただきました。今回得た経験をこれからの大会や生活に活かしていきたいと思えます。ご支援して頂き本当に有難うございました。



Under18の代表選手たち



500mシングル 予選



贈呈式

島根県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

(こども総合保険)

2024年1月現在の内容です。

オンラインでも お申込みいただけます!!

(詳しくはパンフレットをご確認ください)



選べる4プラン (2024年度版)

年間掛金【一時払】

Xプラン

18,450円

(1年分の掛金)

Gプラン

13,320円

(1年分の掛金)

Bプラン

8,260円

(1年分の掛金)

Cプラン

6,220円

(1年分の掛金)

総合保障制度の特長

※プランによってセットされている補償項目は異なります。総合保障制度の詳細に関しましては、パンフレットをご覧になるか取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。

- 自転車事故でお子さまが加害者になってしまった場合の損害賠償責任も国内無制限補償!
- おケガは補償期間中、1日24時間(学校が休みの日も)補償!
学校部活動中はもとより地域のスポーツクラブでのおケガにも備えられる!
- 熱中症、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を補償
- 学校の授業・登下校中などにお子さまが携行している身の回り品(メガネ、制服、タブレット端末等)を補償
(修理費または時価額のいずれか低い金額を補償します。自転車等一部補償対象外のものがあります。)
- オンラインで簡単に保険金請求(デジタル保険金請求)
※デジタル保険金請求の対象となる補償の有無は、加入者証にてご確認ください。

取扱代理店・扱者

有限会社メイジ

出雲市斐川町直江4888-4
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)
TEL.0120-001-230(通話料無料)

引受幹事保険会社

AIG損害保険株式会社 山陰支店

松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6F
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776



公益財団法人 島根県育英会

大阪学生会館

大阪府吹田市千里丘中58番10号

施設見学
体験入寮
も可能!

～ ふるさに暮らしているような安心感がここにある ～

令和7年度
第1期

入寮生募集!

募集人員
35名程度

9月2日(月) ▶ 10月31日(木)

(第2期募集: 12月2日～)

あなたのチャレンジ
応援します!

良さ・安心

- ★島根出身の館長夫妻が在寮しており、病気・地震・風水害等の非常時には心強い
- ★相談できる同郷の仲間や先輩がそばにいる
- ★家具などが備え付けで初期費用が押さえられる
- ★近くに病院・コンビニ・スーパー・ホームセンターがある
- ★京都や兵庫の学校も通学可能なところが沢山ある
- ★静かな住宅地に立地

最寄の千里丘駅から
大阪梅田まで十五分の地で
朝・夕2食付き 月額
五万六千円で生活できる

●月額寮費 令和7年度から **1万円値下げ!** 朝・夕2食付きで
現在の寮費66,000円/月 ➡ **56,000円/月**
物価高騰が進む中、値下げして学生を応援します!

●入寮費 12万円または15万円(最短修学年数による)

●応募資格

島根県で生活経験があり、関西の大学・短大・大学院・高専(4年生以上)、
専修学校(専門課程)に在学中か令和7年度進学希望者(進学先未決定でも申込可)

●願書提出先

在学する高校又は出身高校。大学等の在学者は島根県育英会。

【お問い合わせ先】



公益財団法人 島根県育英会 TEL 0852-28-1981

〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター3階 募集案内

交通機関	
JR大阪駅	15分 JR千里丘駅
JR京都駅	25分 JR千里丘駅
JR神戸駅	50分 JR千里丘駅
JR千里丘駅下車徒歩15分 阪急摂津市駅より徒歩20分	



通学圏内・
通学実績の
ある学校



事務局だより

先日高知市で中・四国高P連の総会がありました。高知の高P連の会長さんから高知大会についていろいろお話を聞きました。「記念講演は、初めて世界を見た日本人ジョン万次郎の話。高校生による活動発表、生徒が作った販売品。また、カツオのおいしさ等」と教えていただきました。ぜひ高知大会に参加したいと思いました。

来年中・四国高P連大会は島根であります。島根大会でも、記念講演、高校生による活動発表、各県PTAの研究協議等があります。既に準備を少しずつ行っていますが、「島根らしい」大会にしたいと考えています。島根には他県に誇れる観光地や美味しいものがたくさんあります。それらを具体的に挙げてPRし、「島根に行きたい。食べたい。そしてなにより島根大会にぜひ参加して学びたい。」と思ってもらえるような大会にしたいと思えます。県外から来てくださる方には島根の良さを知って欲しいですし、県内の方には島根再発見の場になるような大会にしたいと思えますので、ご協力をよろしくお願いたします。

